

第16回 介護医療連携推進会議

宝塚清光苑 定期巡回サービス
管理者

日時：平成30年10月30日（火） 10：30～11：30

場所：宝塚清光苑 地域交流室

出席者：宝塚市介護保険課 担当者様

社会福祉協議会 担当者様

第三者評価調査者様

民生委員様

グループホーム管理者様

グループホームケアマネジャー様

小規模多機能居宅介護施設管理者様（2名）

認知症対応型通所介護管理者様

連携先訪問看護ステーション所長様

連携先訪問看護ステーション看護師様

（宝塚清光苑出席者）

副施設長

グループホーム管理者

小規模多機能管理者 高

定期巡回サービス管理者

（欠席者）

地域包括支援センター担当者様

1. 事業内容の報告

- ・ご利用人数 5月 22名、6月 22名、7月 21名、8月 24名、9月 26名、10月 25名
- ・平均要介護度 5月 3.3 6月 3.5 7月 3.6 8月 3.7 9月 3.6 10月 3.7
- ・終了者について
10月入院2名

2. 事故・苦情等

10月、車椅子での移動介助時に車椅子ごと後ろに転倒させてしまう事故が発生。基本を守った方法で介助をすることを徹底するよう指導。宝塚市介護保険課に報告し、事故報告書を提出。

3. 訪問看護ステーション様との連携強化

9月より月1回のペースでミーティングを実施。ケアをするにあたって、利用者様一人一人について注意する点と現在の状態を確認。アセスメントによる適正な訪問回数など、医療からのアドバイスをいただく。

また、事故、感染予防、ご家族様からの暴力等トラブルへの対処方法についての事業所間で統一した手順書を共同で作成中。

4. 兵庫県定期巡回随時対応サービス普及セミナー

平成30年11月21日、連携先訪問看護ステーション所長様、宝塚清光苑定期巡回サービス管理者が発表予定。

5. 平成30年9月14日、兵庫あんしんネット24（兵庫県定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者連絡協議会）の設立。

活動目標 1. 事業所間の情報共有

2. サービスの質および技術向上を図る
3. 定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスの普及、啓発活動

活動内容 1. 協議会の開催

- 1) 兵庫県全体協議会は年2回以上開催
 - 2) 支部協議会を年2回以上開催し、情報交換、広報活動に関する検討を行う。
2. 研修会の開催
- 1) 平成31年度より兵庫県の委託を受けて定期巡回普及セミナー研修を行う。
 - 2) 支部協議会においてサービスと技術向上のための研修を実施する。
3. 広報活動
- 1) 定期巡回サービスの普及啓発の為、病院や居宅介護支援事業所へ広報活動を行う。
 - 3) 相談窓口を設置し、新規事業所立ち上げ支援を行う。

6. 自己評価について

自己評価を配布。後日第3者評価をいただき公表予定。

7. 質疑応答

社会福祉協議会担当者様

平均要介護が高くなっているが、どのような利用者様が多いか？

→老々介護の方、看取りの方が多くなっている。

ケアマネジャーの理解は？

→まだまだ利用者様とサービスのミスマッチがある。

民生委員様

定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスについて、良く知らない。あまり情報がないのでは？普及しない理由は？市の普及促進対策は？

→公募はしているがまだまだ施設志向が強いのか、どの法人も事業に参入しない。

訪問サービスは特に人材が不足がちである（介護保険課様）

→短時間の身体介護に加え、ご家族様とのやりとり等もあるため相談援助職的なスキルも必要となってくる。ハードルが高いため、特に人材採用が難しい（定期巡回管理者）

副施設長

訪問看護ステーション様として、定期巡回と連携してどうでしょうか？

→訪問看護ステーションだけでは看取りは難しい。特に看取りにおいて定期巡回随時対応型訪問介護看護は、なくてはならないサービスである。それだけに限りある人的資源を本当に必要な利用者様に使って欲しい。

以上